【専門分野】

科目名	小児健康論	講師名	岡山医療センター医師A（4） 岡山医療センター医師B（6） 岡山医療センター医師C（6） 学校長（2） 岡山医療センター医師D（8） 岡山医療センター医師E（4）	学年	2	履修期	第１学期
単　位	１単位						
時間数	３０時間						

授業概要	小児各期におけるあらゆる健康状態の特徴と家族を理解し、健康障害及び入院が及ぼす影響と個別性を看護の実践へ結びつけて理解するため、疾患の病因、病態生理、診断、治療などについて学ぶ。
授業科目目標	１．小児各期における健康障害や診断・治療が理解できる。

授業計画

１～２回：新生児・染色体異常 １）新生児医療とは ２）新生児疾患の病態・症状・治療・検査 ３）低出生体重児の疾患の病態・症状・治療・検査 ４）染色体異常の病態・症状・治療・検査	講義	８回：血液・造血器疾患、悪性新生物 １）出血性疾患の病態・症状・治療・検査 ２）悪性新生物の病態・症状・治療・検査	講義
３回：内分泌・代謝性疾患 １）先天性代謝異常の病態・症状・治療・検査 ２）代謝性疾患の病態・症状・治療・検査 ３）下垂体疾患の病態・症状・治療・検査	講義	９回：腎・泌尿器・生殖器疾患 １）ネフローゼの病態・症状・治療・検査	講義
４回：免疫・アレルギー性疾患 １）気管支喘息の病態・症状・治療・検査 ２）食物アレルギーの病態・症状・治療・検査	講義	10 回：神経疾患 １）痙攣性疾患の病態・症状・治療・検査 ２）脳性麻痺の病態・症状・治療・検査	講義
５回：感染症、呼吸器疾患 １）ウイルス感染症の病態・症状・治療・検査 ２）細菌性感染症の病態・症状・治療・検査	講義	11 回：児童虐待、事故・外傷 １）不慮の事故総論 小児外科的疾患	講義
６回：循環器疾患 １）先天性心疾患の病態・症状・治療・検査 ２）ファロー四徴症の病態・症状・治療・検査 ３）川崎病の病態・症状・治療・検査	講義	12 回：胎生期・新生児期の疾患 １）消化器疾患の病態・症状・治療・検査 ２）腹壁疾患の病態・症状・治療・検査	講義
７回：消化器疾患 １）口腔疾患の病態・症状・治療・検査 ２）乳幼児下痢症・胃腸炎の病態・症状・治療・検査	講義	13 回：消化器疾患 １）食道・胃・十二指腸疾患の病態・症状・治療・検査 ２）小腸・大腸疾患の病態・症状・治療・検査	講義
		14 回：腎・泌尿器疾患 １）生殖器・外性器疾患の病態・症状・治療・検査 ２）泌尿・生殖器疾患の病態・症状・治療・検査	講義
		15 回：終了試験	

評価方法	筆記試験
テキスト	１．系統看護学講座　専門分野　小児看護学［2］小児臨床看護各論，医学書院.
学生へのメッセージ	健康な成人期を迎えることができるかどうかは小児期の健康に関わってくるため、自分の子どもの頃を思い出したりご両親に自分の子どもの頃のことを尋ねたりしてみて下さい。子どものことをあまり難しく考えず、今まで他の領域で学習したことや自分の体のことと関連させながら理解するようにして下さい。 【関連科目】解剖生理学Ⅰ～Ⅳ、病理学Ⅰ～Ⅳ、臨床治療論、小児看護学概論